

千葉県社保協通信

2017年度一No20 2018年 5月 21日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉サカビル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

社会保障は国の責任で

中央社保協国会要請行動

「介護保険の改善」「社会保障の拡充求める」署名27万筆提出

5月17日午前、衆議院第1議員会館で行われた集会には各地から約180人、千葉県からは、土建、民医連、保険医協会、労連などから24人が参加。集会後、千葉県選出の衆・参議員30人に要請行動を行いました。



日本共産党の宮本岳志衆院議員、武田良介参院議員、国民民主党の下条みつ衆院議員に署名を託す。↑

集会では、全日本民医連の山田智副会長が、昨年実施した「経済的事由による手遅れ死亡事例」調査を報告し、国が進める「社会保障制度改革・医療制度改革」は一層「手遅れ死亡」を増大させると告発。

千葉県社保協を代表して、千葉土建並木寛治さんが発言しました。

議員要請は6班に分かれて行いました。共産党田村智子議員は、紹介議員を快諾、記念撮影。(右写真)秘書と生活保護基準引き下げについて懇談しました。志位和夫議員の秘書とは木更津基地のオスプレイ配備問題で意見交換。小池晃議員は秘書に紹介議員を確認。

また、国民民主党の奥野総一郎議員を訪ねると議員本人に代わって政策秘書が対応。「もちろん紹介議員になります」と持参した署名を手渡すことができました。田島要議員(無会)は留守でしたが、女性



秘書が要請書を受け取り、話を聞いたうえで「議員に伝え検討させていただきます」とのこと。記念撮影も。(左写真)

参加した渡部和夫さん(土建市原支部)は「地元の岡島一正議員が留守だったので要請書は地元事務所に届けたい」と。

また、午後の報告集会で、加藤久美さん(民医連)は「一緒に回った土建の皆さんは、自民党から共産党まで、大会や土建まつりなども通じて、幅広く地域でのお付き合いができていますと感心しました」と話しました。



学習を力に 25条署名広げる!

千葉土建県本部副委員長 並木寛治

社会保障の給付削減が進められる中、千葉土建では憲法25条の精神を隅々まで広めようと、支部や分会・班で継続的に学習をしています。

10%への消費税増税も不安です。一人親方はじめ個人の自営が多く、老後が不安です。今年度は3回の年金学習会を開催。年金の問題以外にも、支部主催の社会保障問題学習会、主婦の会での医療・介護学習会。また毎月の分会会議や班会議などで、情勢を学び、社会保障についての重要性や拡充の必要

性について議論を深め、意識を高めています。

社保協に結集している様々な団体の仲間とも協力しあい、学習し、自治体要請キャラバン行動で運動を進めてきました。

貧困と格差は大きな問題であり、平和を脅かす危険な因子にもなりえます。だからこそ、国が責任をもって社会保障制度拡充をさせるべきです。

今こそ憲法25条に基づいた社会保障の拡充が必要です。

集めた12,000筆を超える署名とともに、仲間の声を届けます。

(5.17国会内集会での発言要旨)